



意外と知られていない松原の魅力を  
阪南大学国際コミュニケーション学部  
神尾セミの皆さんと探索・お伝えする  
「松原ええとこ発見隊」。

今回は、「河内大塚山古墳」です。  
古墳の周りを巡りながら、歴史ウオー  
クでお馴染みの西田孝司さんに話を  
お聞きしました。

**5番目に大きい古墳です**

〈西田さん（以下N）〉大塚山と呼ば  
れる古墳は、実は日本各地に数多く  
存在する。なので、ここは河内大塚  
山古墳と言われているんや。

日本で5番目に大きい古墳で、6  
世紀後半に作られた前方後円墳や。

〈ええとこ発見隊（以下E）〉これは  
誰のお墓なのですか？

〈N〉この時代は、まだ文字が普及し  
てなかったから解明  
できてない。おそら  
く、その時代の大王  
のお墓やろうね。

『古事記』や『日本書  
紀』から推測されるの  
は、安閑天皇や欽明天  
皇の陵ではないかと。  
また、墓を作りかけ  
たが未完成のままとい  
う説もある。

**人が住んでた!?**

〈N〉織田信長に滅ぼされて今はもう  
無いけど、戦国時代、この古墳には丹  
下氏によって、丹下城が築かれていた。  
そして江戸時代、平和になると古  
墳の前方部に村ができた。後に「大  
塚村」と名づけられ、昭和3年  
まで300年以上も  
人が住んでたんや。



〈E〉え、古墳に人がですか？

〈N〉そつ。何十戸の家のほか、畑や  
井戸に寺、お宮さんなんかもあった  
んや。今でも、後円部にはお宮さん  
の跡が残っている。

大正後期に陵墓参考地となつて、  
立ち退きが始まり、昭和の初めに宮

内庁が立ち入り禁止にしたんや。  
〈E〉この古墳を1周したら大体徒  
歩で何分くらいなのでしょう。  
〈N〉何のための取材や。取材は足  
やる（笑）さあ！行こ！

**1周してみよう！**

西田さんに連れられ、ぐるつ  
と古墳を1周することに  
したええとこ発見隊。

〈N〉あれ、見える

か？濠と墳丘を結  
ぶ細長い陸地は、江戸  
代からあるんや。

さつき言つてみたいのに、こ  
こには人が住んでたから、あそこ  
が橋のような役割をしてたんや。

〈E〉なるほど！

……………  
〈N〉大丈夫か？疲れてない？（笑）  
人工やけど、大塚山は市内で一番  
標高が高い場所なんやで。

〈E〉ちなみに標高何mですか？  
〈N〉40mくらいや。松原市は、ほ

**歴史つて面白い**

ぼ平坦な土地から目立つね。  
おつと、ちょうどこの辺りが、松  
原市と羽曳野市の分かれ目や。

古墳の濠の周りを外れ、住宅街の  
中へ進む、ええとこ発見隊。

〈N〉大塚村に住んでいた人たちは、  
古墳から立ち退いた後、東側周辺に  
家を建てた。今でも、その生活を垣  
間見れるような跡が残っている。  
こつやつて昔の歴史をたどつてみ  
るのも、面白いと思わん？

古墳ひとつとっても、その土地に  
根付いたエピソードがあると学んだ  
ええとこ発見隊。

ちなみに、古墳の周りを1周する  
と、約20分かかりました。皆さんも、  
ウォーキングがてら河内大塚山古墳、  
いかがでしょうか。

